

## 議員からのハラスメントに関する実態調査アンケート集計結果

【目的】市職員の働きやすい職場環境の実現に向けて、議員からのハラスメントに関する実態を把握するために、アンケート調査を実施する

【実施期間】令和6年6月12日(水)～6月21日(金)

【実施方法】LOGO フォーム

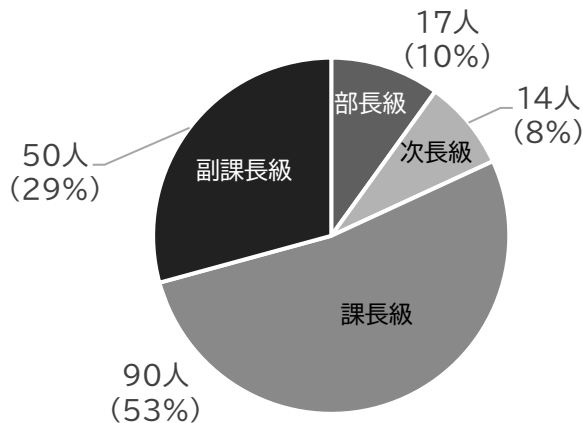
【対象者】部長級・次長級・課長級・副課長級の職員 177名 【回答】171件(96.6%)

(市長部局・教育委員会事務局・消防本部・市民病院事務局・議会事務局・行政委員会事務局職員)

アンケートの回答内容のうち、記述については、あくまでアンケートとして回答があったものを記載しているもので、市として事実を確認したものではありません。

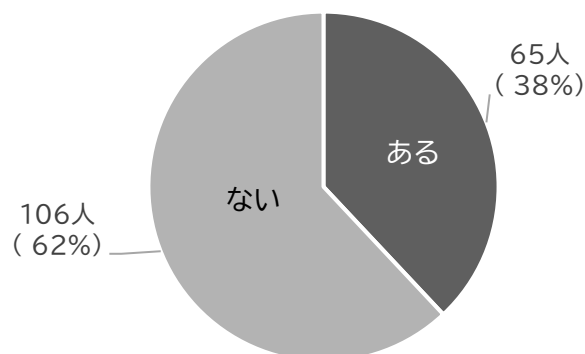
また、誹謗中傷に当たる恐れがある、不適切な表現、ハラスメントとは直接関係ない記述等については削除、割愛或いは表現を変更しています。

### Q1. あなたの役職を教えてください

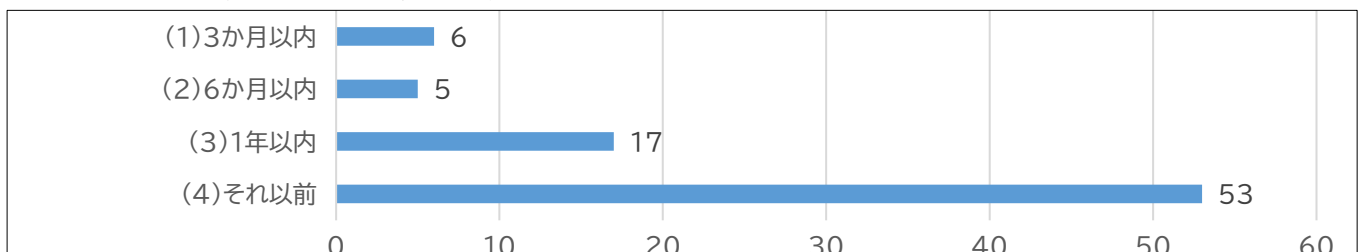


■ 自分自身がハラスメントを受けたことがある場合についてお聞きします。

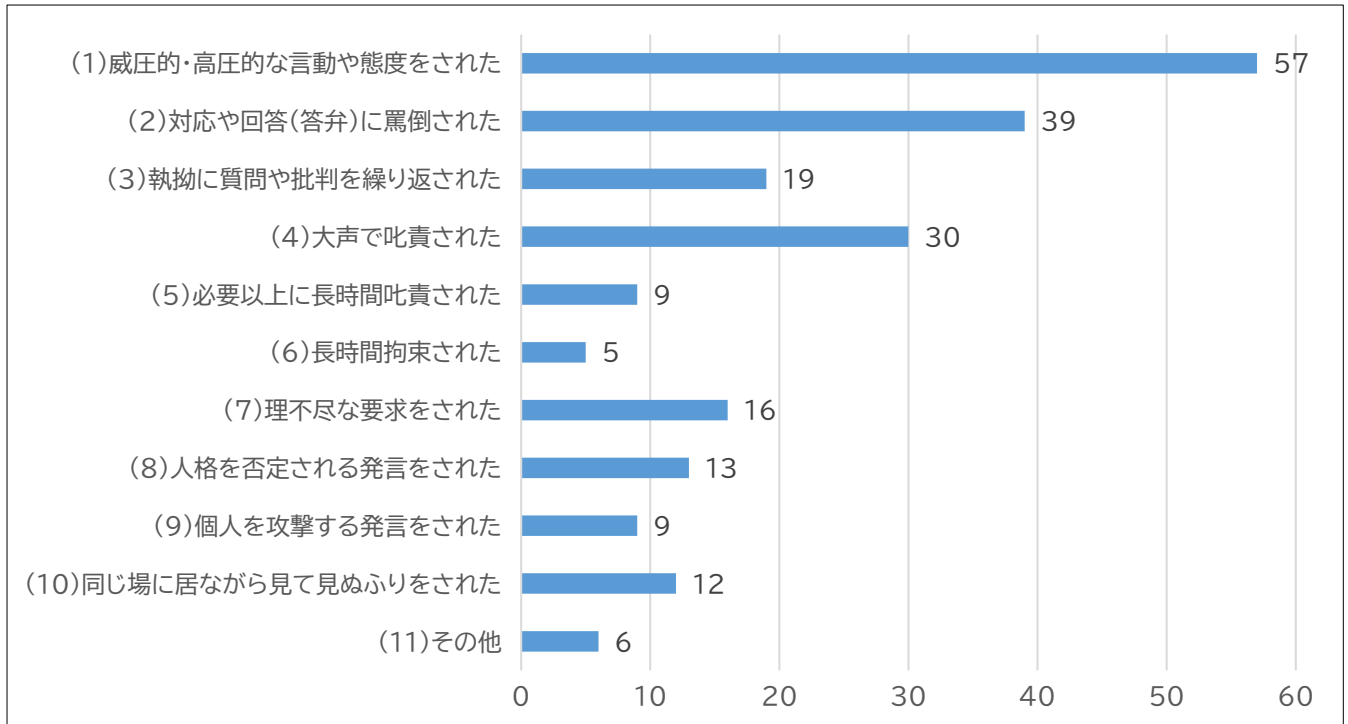
### Q2. あなたは議員からハラスメントを受けたことがありますか？



### Q3. それはいつ頃ですか？（複数選択可）



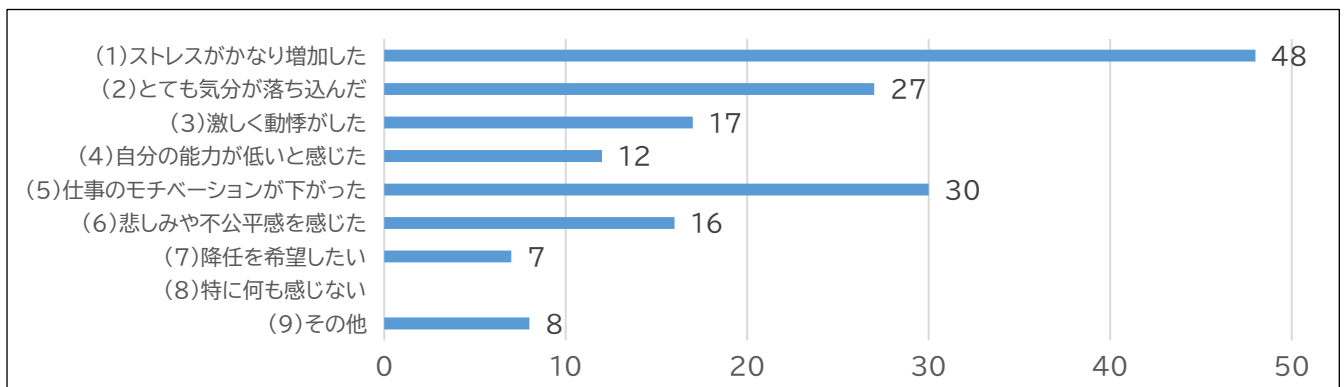
**Q4. どのようなハラスメントでしたか？(複数選択可)**



**(11)その他**

- ・ 無視された。
- ・ 議員に会派室に呼ばれ、事業概要について説明したところ、その途中で言葉を遮り、「そんな無理に決まってるやん！あーあー、あんたらの考えることは所詮そんな無駄なことばかりや！何も考えてないやん！無駄なことにばかりに税金使って。どうなっとんかちゃんと説明せえ！」と大声で叱責された。暴言甚だしく、全く持ってパワハラの典型的な例である。ちなみに部屋には他に議員がいたが、見て見ぬ振りだった。
- ・ 「あんたら、人の金、市民の税金やったら何とも思わへんねやろ」と複数回罵倒された。
- ・ 自分と違う考えの説明に対しては、理解しようともせず、聞く耳も持たず、顔を真っ赤にしながら威圧的な言動や態度をされる。
- ・ 三田市外在住であるが、「三田市外の者に税金で給料を払うのは無駄。辞めろ。三田市在住の者と代われ」と言われた。
- ・ 特定の支援者の活動に対する補助金制度を創設するよう要求されたが、断り続けた。
- ・ 執務室内の机を何度も叩いて、叱責し罵倒された。
- ・ 法令に違反する疑いのある事案に対して注意をしたところ、逆切れされて「訴えてやる」と罵られた。

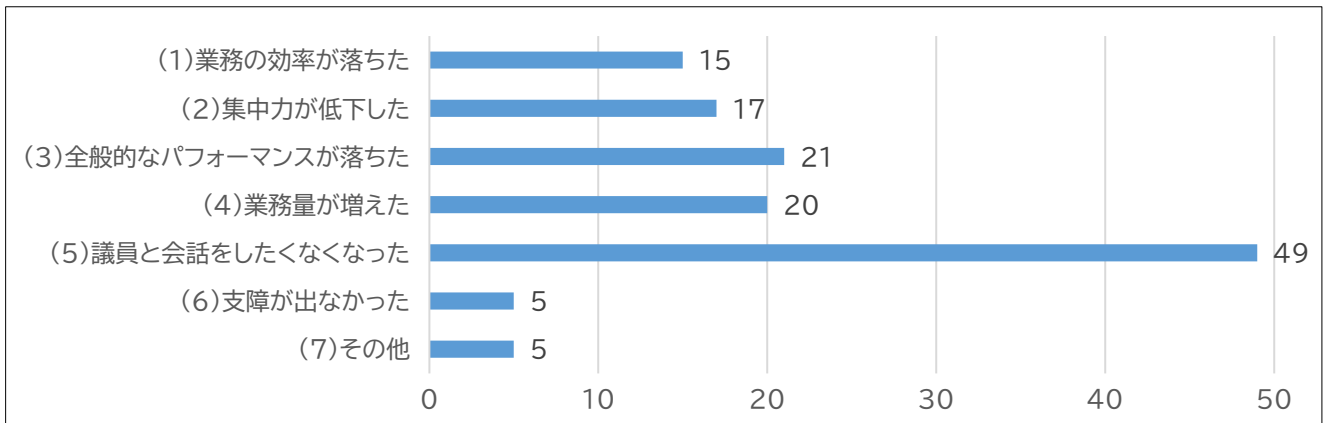
**Q5. Q4の時、あなたはどのように感じましたか？(複数選択可)**



### (9)その他

- ・ 気になって寝れなかった。言われている内容が意味不明で理解できなかった。
- ・ 怒る人だと聞いていたので、腹が立つだけで何も感じなかった。
- ・ 誰のために仕事をしているのか、わからなくなった。
- ・ 会派控室において同室にいる議員から当該議員へ注意もされず、その議員に対しても憤りを感じた。
- ・ 議員に対する敬意がなくなった。
- ・ 非常に腹立たしさを感じた。怒りが込み上げてきた。

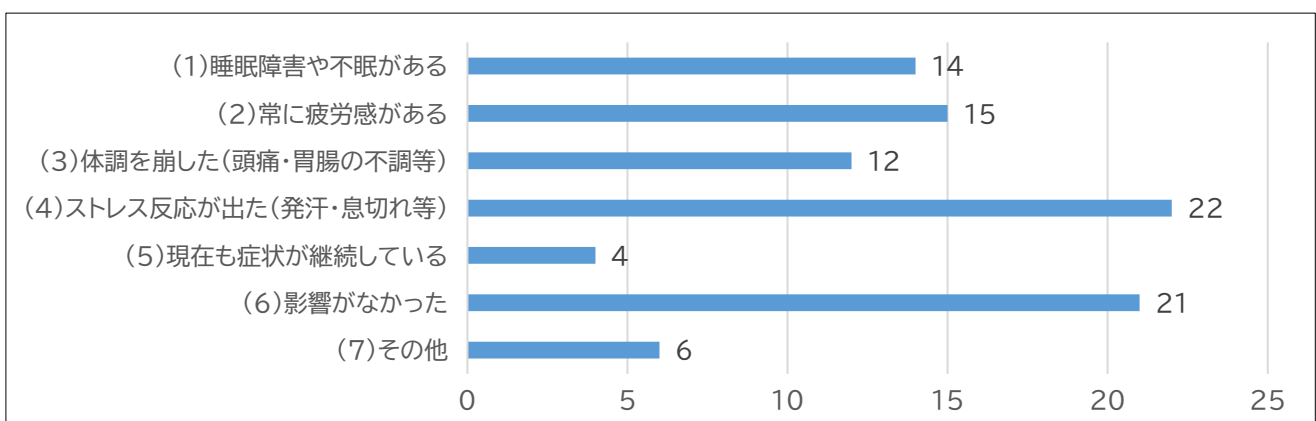
### Q6. Q4のハラスメントにより業務にどのような支障が出ましたか？(複数選択可)



### (7)その他

- ・ 無視されているので会話していない。
- ・ 業務に誠実に取り組むことが馬鹿馬鹿しくなった。
- ・ その要求を断るための資料作成等に膨大な時間を要した。
- ・ 話かけられると身構えてしまう。
- ・ 全ての議員との対応自体が嫌になった。

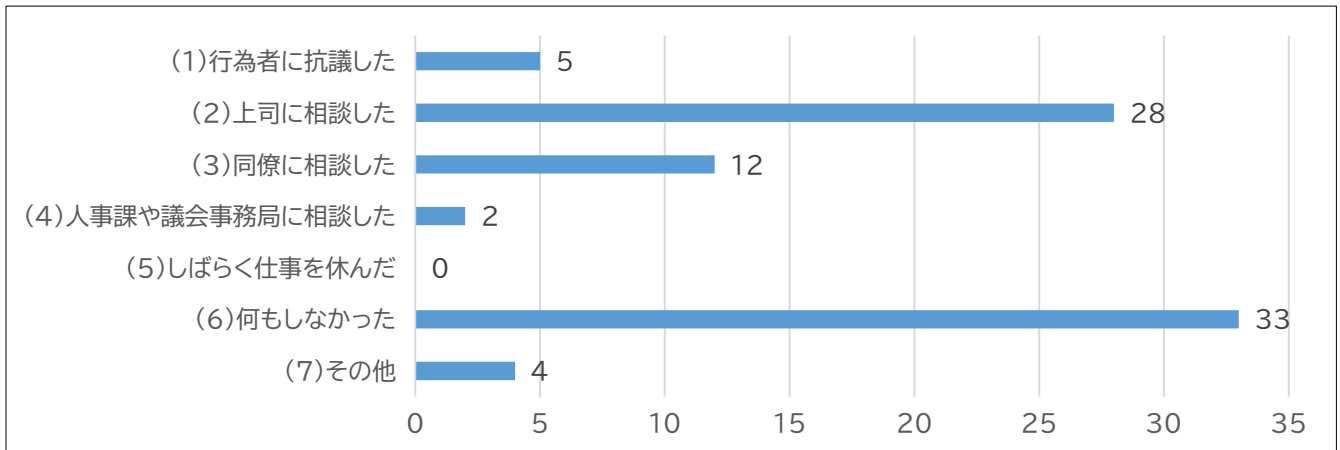
### Q7. Q4のハラスメントにより体調面にどのような影響がある又はありましたか？(複数選択可)



### (7)その他

- ・ 常にイライラする。怒りっぽくなった。
- ・ 当該議員と接する際は、常に緊張し圧力を感じる。
- ・ 議員と話をする前日からいつも憂鬱になり、可能であれば話をしたくない。
- ・ ト라우マとなり、議員と接する際に、恐怖を感じた。
- ・ 常に大声で叱責されるのではないかと心配するようになった。

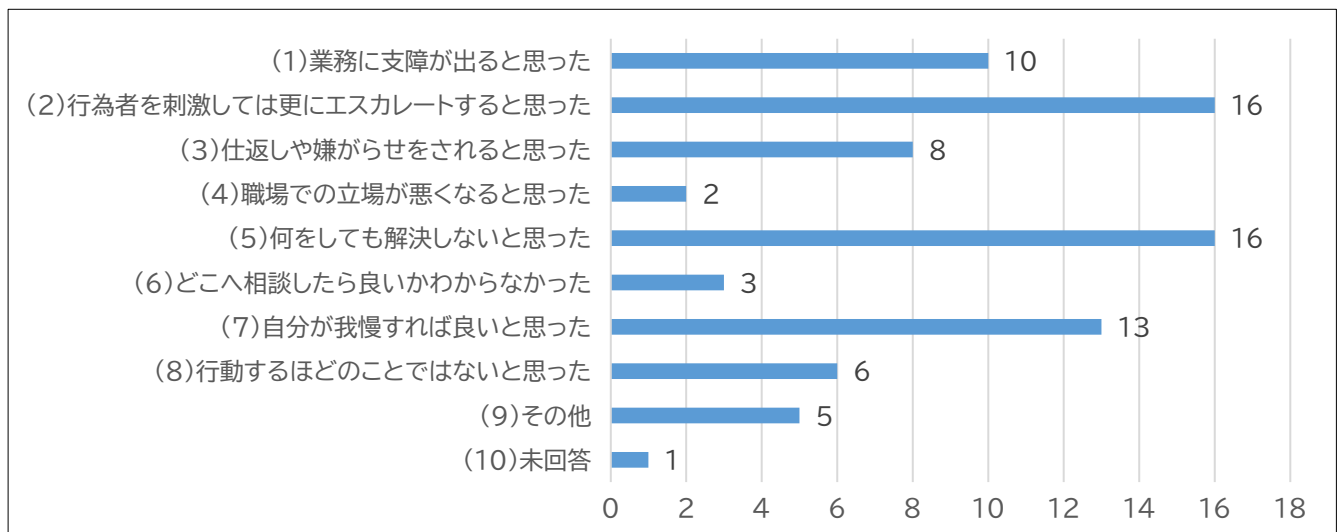
**Q8. 議員からのハラスメントにどのような対応をしましたか？（複数選択可）**



**(7) その他**

- ・ ハラスメントに対応した条例がなかったため相談に止め問題にはしていない。
- ・ 当時の総務課長や室長から聞き取りがあった。
- ・ 上席も同様に呼ばれて議員から激しく叱責された。
- ・ 自分の対応能力を高められるよう努めた。

**Q9. Q8で「(6)何もしなかった」を選択された方にお聞きします。ハラスメントがあった際に、何もしなかったのは何故ですか？（複数選択可）**

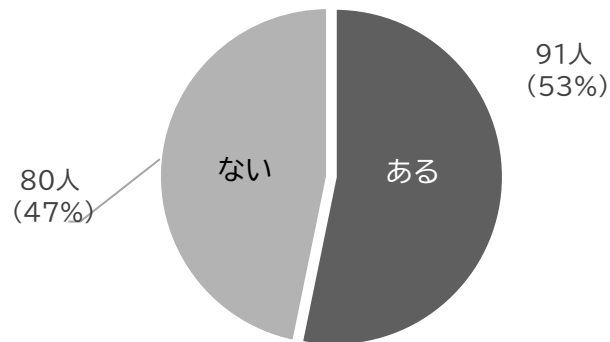


**(9) その他**

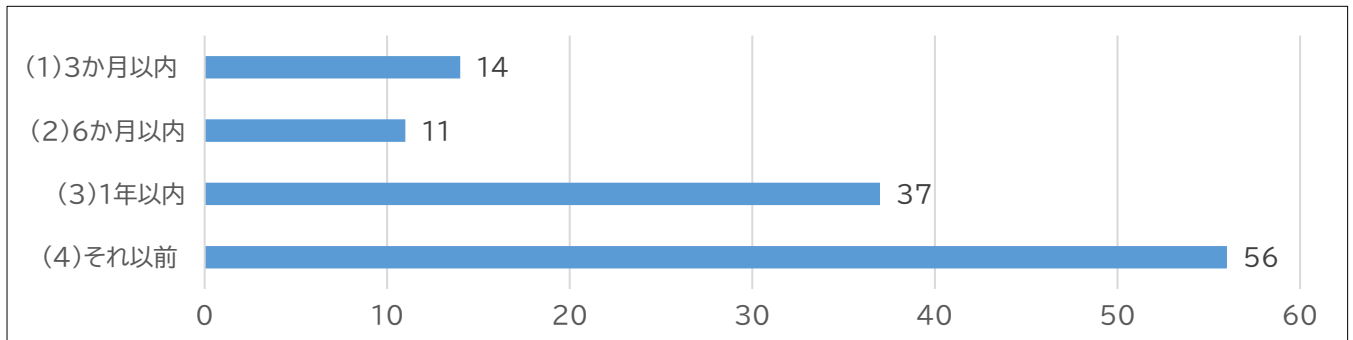
- ・ 他にも同様の対応をされている職員が多数いたため、ハラスメントではなく管理職になればある程度受忍しなければならない行為(言動)だと思っていた。
- ・ 議員の資質に欠ける行動というより、大人、社会人としてどうなのかというレベルである。
- ・ 一部の議員からのハラスメントは以前からも当たり前のようであり、「職員をいじめるのを議員の特権だと勘違いして楽しんでいる」と一部の議員から聞いたことがある。
- ・ 市幹部も議会運営に影響するため、その行為を容認している風潮がある。言っても無駄で、我慢するしかなかった。
- ・ こういうものだとして諦めた。

■職員がハラスメントを受けているのを見た(聞いた)ことがある場合についてお聞きします。

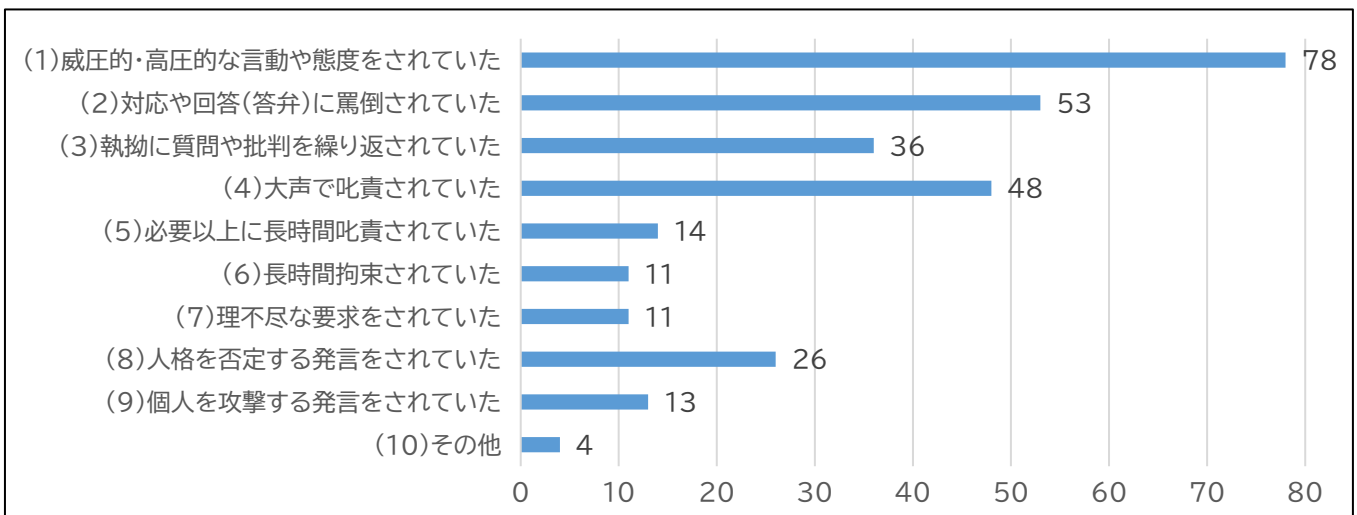
Q10. あなたは職員が議員からハラスメントを受けているのを見た(聞いた)ことがありますか？



Q11. そのようなハラスメントを見た(聞いた)のはいつですか？(複数選択可)



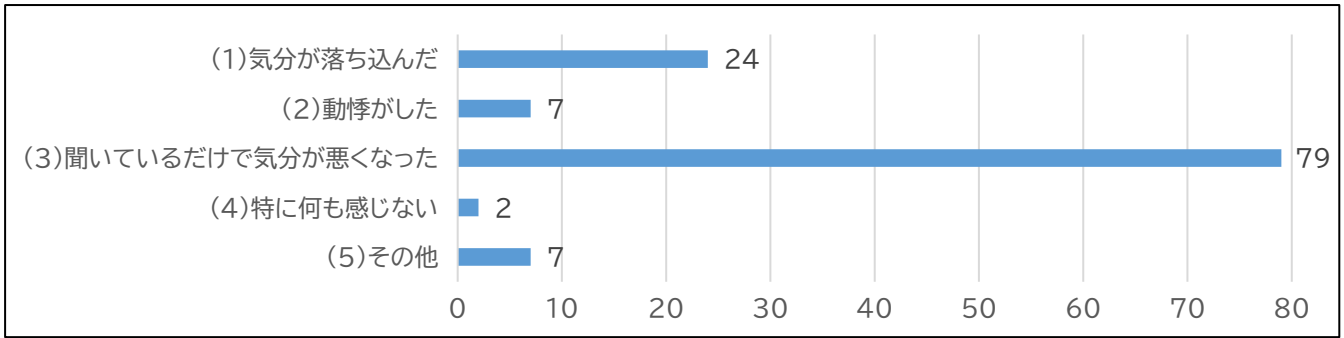
Q12. どのようなハラスメントでしたか？(複数選択可)



(10)その他

- ・ 定期的に電話がある
- ・ 市議会一般質問の質問を市職員に書かせている議員が未だに居る。
- ・ 若い市職員が地元の自治会の会合で、市職員のくせに私(議員)を知らないとはどういうことだと市民の前で叱責され、嫌な思いをしていたと聞いた。
- ・ 議員からのハラスメント後、当該職員が休職していると知った。

**Q13. その時、あなたはどのように感じましたか？（複数選択可）**



**(5)その他**

- ・ 問題を解決しようとしているのではなく、議員の支援者の要求を通そうとする行為であると感じた。
- ・ 次は、自分の番だと考えると不安になり、明日は我が身と議員に恐怖を感じるようになった。
- ・ 「またか」としか感じない。
- ・ 気分が悪くなった。三田市民として、そのような議員に投票する市民がいることを非常に情けなく思う。
- ・ 議員の資質、議会の自浄作用の低下を感じた。
- ・ このような対応をされるのであれば、自分はやっていけないと感じた。

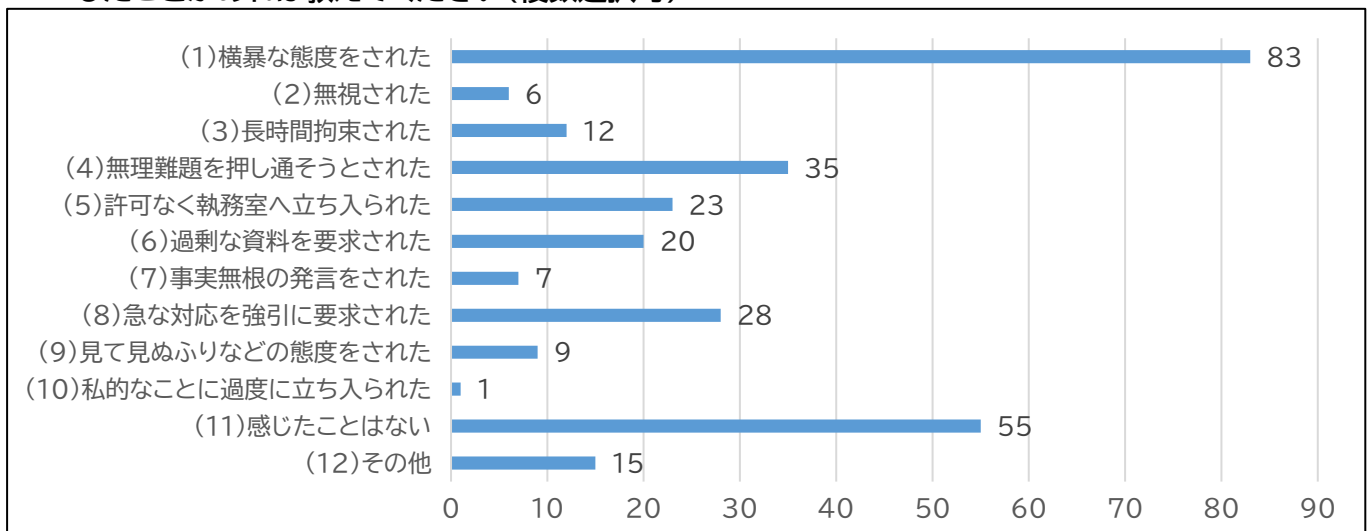
**■Q2. 「自分がハラスメントを受けた」、Q10「職員がハラスメントを受けているのを見た(聞いた)」で、(1)あると答えた方にお聞きます。**

**Q14. それは誰から受けましたか？**

- ・ A 議員:68人
- ・ B 議員:31人
- ・ C 議員:6人
- ・ D 議員:5人
- ・ E 議員:4人
- ・ 元議員:3人

**■すべての職員にお聞きます。**

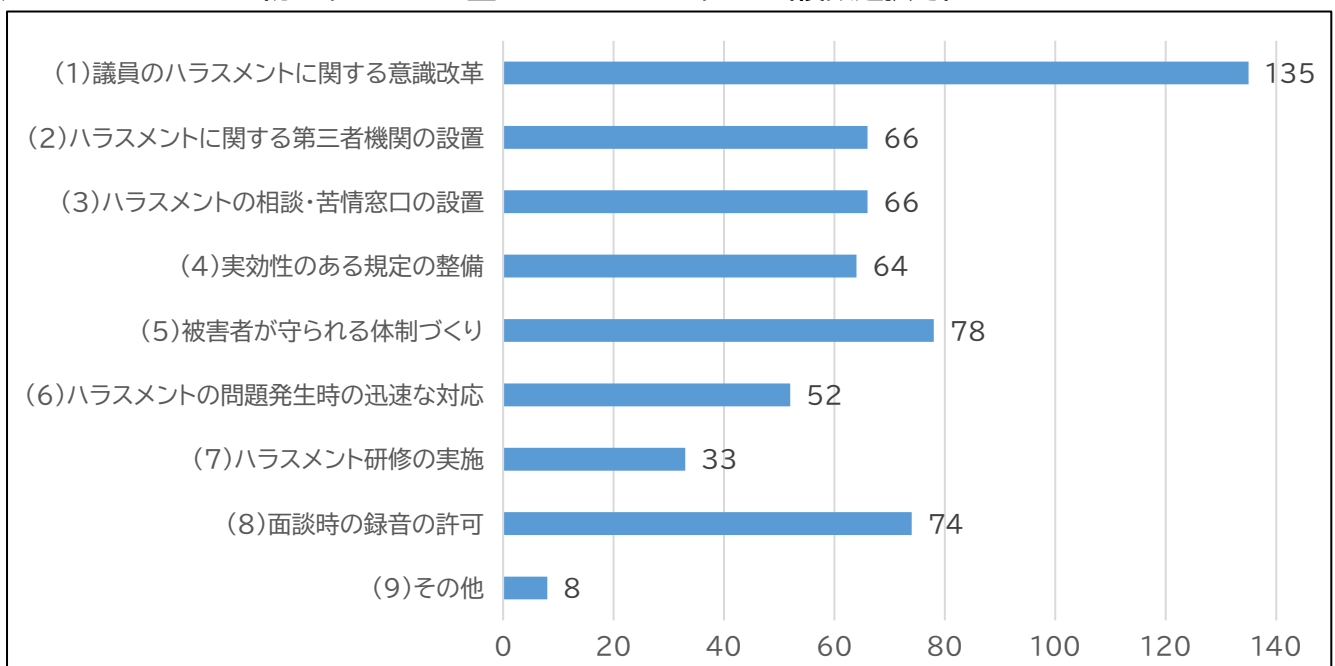
**Q15. 議員と接する中で、ハラスメントを受けたという認識ではないが、「不快、威圧感、プレッシャー」に感じたことがあれば教えてください(複数選択可)**



## (12)その他

- ・ 議員に應對していた際に、思案して腕組みをした途端に「その失礼な態度はなんだ」と急に激高して叱責された。
- ・ 説明が十分に理解できない、納得できないというような場面のやり取りで声を荒げる。
- ・ 説明内容に対して突然激昂され、普通の会話が成立しないような状態になった。
- ・ 自分の質問事項に関しては高圧的に問い質すが、他党の質問に関しては適当な答弁で良いと言われる。
- ・ 会派の部屋に呼ばれた時はあたかも主従関係みたいで違和感を持った。
- ・ 基本議員と接する時はそれなりのプレッシャーを感じる。間接的な圧力を感じたことはある。
- ・ 理不尽な要求をされた。威圧的・高圧的な言動や態度をされた。
- ・ 批判、指摘に対して、当方から説明しようとしたが、それを遮り十分に聞くことなく、自分の意見を言い続けた。説明を聞き入れず、主張ばかりして理解しようとしなない。
- ・ 説明の途中で急に激高されたため最後まで説明できなかった。
- ・ 予算決算委員会で、担当部署以外に関することや審議に直接関係のないこと、ご自身で調べればわかること(答えられるか試されているような内容)を唐突に質問され、答えられないと雰囲気が悪くなる。
- ・ 議会はそういう世界だと庁内の風土があるので、課長以上は議会对應に必要な以上の準備に時間を取られ、心身ともに疲弊している。
- ・ 電話での質問のために一人で説明に行った会派の部屋で、議員からの反論や意見を感情的・高圧的に感じて、伝え方に苦慮した。
- ・ 説明資料について、自分が見逃し、その後気づくまでの間、いわゆるダメ出しを繰り返す。その際、声も大きくなり、怒り口調となることが多くある。
- ・ 問い合わせに対する回答(電話含む)の際、自分が理解できないと怒り口調でのダメ出し等があるが、そもそも質問の仕方が曖昧、話の中で質問の中身が変化していく等、質問の趣旨や内容がはっきりしないことが多い。
- ・ 職員によって対応する態度を変える。
- ・ 特定の職員を議員控室に招き入れる。
- ・ 自らが関係する団体が主催する研修会への職員参加を要求される。

## Q16. ハラスメントを防止するために望むことはありますか？(複数選択可)



## (9)その他

- ・ 議員が職員より上位であると認識している意識を変える必要がある。
- ・ ハラスメント議員の即時解任。
- ・ 職員の意識改革も必要。職員は議員の部下でもなく、議員が偉いわけでもない。市職員側の議員に対する対応の見直し(おかしいと思えばその場で指摘、できないことはできないと言う)。
- ・ 威圧的な態度や立場を利用しての要求に一人に対応するのではなく、組織として毅然と対応できる体制があれば安心できる。
- ・ また、議会の質問時は、「質問」の範囲内なのか、「ハラスメント」に該当するのかわかりにくい。感じ方には個人差があるが、明確な線引きができれば、行為者には抑止に、受けた側ははっきりと抗議できることにつながる。
- ・ 議員名を記載したパワハラ被害の HP での公表。
- ・ 議員定数の削減。
- ・ 実施している他自治体を参考に全ての委員会に制限時間を設けてはどうか。時間的なストレスは解消され、意味のある質問に凝縮されると思う。

## Q17. その他ご意見があれば記入してください

### 【議員に対する思い】

- ・ 市民の代表としての自覚があれば、あのような態度にはならないと思う。特定の支援者からの要望の場合の態度が通常の市民要望の態度と異なると感じている。
- ・ 議会内での甘い体質を変えなければ根絶などできようがない。
- ・ 議員の横暴な言動に対し、真剣に取り合っていないため、腹が立つくらいで気に病むこと等はないが、真面目な職員はキツイと思う。ありのままのアンケート結果を全議員に開示していただきたい。
- ・ 某議員は基本的に職員の仕事に対する姿勢は怠慢で、真剣に仕事をしていないと思っているのでパワハラ的な発言になると思う。
- ・ 何か気に入らないことがあれば、仕返しされるのではないかというプレッシャーは常にある。そのため強い態度で対応しにくい。
- ・ 議員が立腹しているときは、更に火に油を注がないよう、職員は沈黙することも多いのが実状である。そのような場合に、より威丈高になることがある。「いじめっ子」気質を持っていると言わざるを得ない。
- ・ 学校でのいじめをなくすことについて議会でも問題提起することがあるにも関わらず、議員が職員に対して上記のような対応をすることがあることは、子どもたちの反面教師としての「良きお手本」であることを示すものであるのではないかと皮肉に思うこともある。
- ・ そのような状況を周囲の議員たちが放置してみても見ぬ振りをしていることも、学校におけるいじめと同じであり、職員として悲しくなる。
- ・ 一部の方ではあるが、「議員」という立場を理解できておらず、何かはき違えていると感じる。また、有権者である市民への対応と市職員への対応があまりにも格差があり過ぎる。
- ・ ハラスメントをする数名の議員は、その染みついた体質、麻痺した体質は、今後も代わることはない。
- ・ 議会は、行政に身を切る改革を求めてくるが、議会は議員自身の身を切る改革を全くする気はない。議会が本気で生まれ変わりたい気持ちがあるならば、議員内のアンケートを実施し、議会として公表するべきである。そもそも、議員からそのような意見が出てこないこと自体に、議員としての意識と思料の低さが伺える。
- ・ 委員会討議等、議会中継で見ている範囲でもハラスメントとなる事例が見られる。市民の皆さまにも見えていることを理解していただきたい。

- ・ 市議会議員の中には、選挙で選ばれた特別職であるという自負により、一般職の職員に対しては、その威厳やおごりから見境のない言動をされているように感じる。
- ・ 議会の役割として、市の意思決定、市長等の監視の権限があるとしても、職員の人格を傷つける権限はないはずだ。職員の人格に配慮した権限の行使をお願いしたい。

#### 【具体的な事例】

- ・ 議員が期待する答弁でなければ語気を強めたり、執拗に質問を繰り返すことが見受けられる。先日、市長が交代した際に「市長が交代した以上計画は変更すべき」と発言していた議員が後日「市長が交代したからといって計画は変更すべきではない。」と発言されていた。例え、それらしく聞こえるとしても、その場に応じて主義主張を変更し、都合の良い解釈と発言をされるのでは、対応することができず、結局のところ反対することを目的としているのでは、と感じざるを得ない質問なども見受けられる。
- ・ 大半の議員が良識をもって議員活動を行っている。しかし、ハラスメントの実態を知りながら見て見ぬ振りをしている姿勢は、子供たちのいじめの世界と全く同じであり、志高く、市民から選ばれた大人(議員)がする行為ではない。
- ・ 予算や決算附属資料の問合せ等は、内線で議員から直接問合せがある。この時に、威圧的な言葉や人格を否定される発言をされ、心身ともにダメージを受けた。
- ・ 議員全員がハラスメントを黙認し放置してきたことは、最大の問題である。
- ・ 気にいらぬ回答があると、「徹底的にやってやるからな」と脅迫に近い発言があり、その後委員会等で執拗に責めてこられている場面をよく見た。
- ・ いつも執務室内に入ってこられる議員を一人見かける。

#### 【パワハラの影響】

- ・ 職員が心理的安全性のないまま議会対応をせざるを得ないことがあるとすれば、執行機関の答弁等が不十分なものとなり、結果として市民の知る権利や適切な議決などの意思決定にも影響を及ぼしかねない。議会がその権限を最大限発揮しようとするほど、職員に対して威圧的な態度で接することは避けるべきと思う。先日の報道以降もそれほど発言等に変化は見られず、失望している。
- ・ 議員と職員は、上下関係にあると認識されている方も居り、言うことを聞かない職員には、徹底して理不尽な言動をされ、多くの管理職が委縮しているように感じる。
- ・ ミス等に不寛容な議員がいることから、揚げ足を取られないよう、文章や答弁の一言一句に気を付ける必要があり、非生産的な仕事を生み出す要因となっている
- ・ 議員のハラスメントにより、管理職を希望する監督職員は、ほとんどいない。また、三田市を希望する職員も減っていくだろう。これは、三田市の損失である。是非改革をお願いする。
- ・ このアンケートに答えるだけで、当時の事がフラッシュバックされることからストレスを感じる。このアンケート調査が、議員の意識改革に繋がることを期待する。

#### 【必要な対策】

- ・ 電話に録音機能が欲しい。証拠がないので、訴えられないのが現状である。
- ・ 行為者への処分と公表。
- ・ ハラスメントを受けた際に、とっさに適切な対応をとることは困難である。事前防止のために、意識改革・研修等々は必要であるが、ある程度の対応マニュアルも必要である。また、事後の相談と合わせて、メンタル面でのフォローがなされるような体制整備が必要である。
- ・ カスハラ防止やトラブル防止のためには、民間のように外線全ての電話の自動録音化や窓口・会議室等の職員以外が面談する場所での録画・録音の自動化をすることが時代に応じた対応だと思う。速やかな実行をお願いする。(客観的な証拠資料になりうるため)
- ・ アンケート集計結果を公表してほしい。過度な緊張や配慮が不要となるよう、管理職自身が守られる実

効性のある体制を早期に作ってほしい。

- ・ 加害者のハラスメントに対する意識が乏しいため、第三者委員会等でハラスメントと認証されれば、必ず氏名を公表する等の措置を願いたい。被選挙人であるため必ず抑止力になると感じる。
- ・ 委員長はじめ周りの議員が注意をする姿勢が必要である。
- ・ 元議員で横暴な対応をする方がいる。庁舎管理の方面からもしっかりと対応することも必要で、実行性を高めるためにも、この機を逃さず、予算面、人材面も含めた理解と協力が必要である。

#### 【市・職員の姿勢】

- ・ 「ハラスメント」の多くは本人にその意識がなく改善が難しいことにある。我々は市政に対し真摯に意見を聞き、時には改め、対応することが仕事でもある。こういった関係性の中、「真摯に聞く」ことについて、どの程度許容しなければならないのかの判断が個人では難しく、能力不足による叱責なのか理不尽な叱責なのか個人の主観、自己判断に委ねられるような風潮がある。「組織」として一切のハラスメントを許さないという姿勢を明確に示し、“何を言っても許される”、“理不尽でも言いづらい”という空気感そのものを変えていく必要がある。
- ・ 市の答弁が曖昧であれば見直す必要がある。そして襟を正し責任を持って答弁しなければならない。また議会(議員)と市(職員)には適度な緊張感や距離感が必要な事も理解できる。双方が信頼関係を持って臨むことが大切である。
- ・ 職員が働きやすい環境を作るためにも、議員と職員というそれぞれの立場や関係性は関係なく、現在、管理職として働いている我々が、ハラスメントは根絶しなくてはならない。自分だけが我慢すれば良いとする風土を改善しなくてはならない。今回の件をきっかけに、お互いの立場を尊重して、しっかりと仕事が出来環境を整える必要がある。
- ・ 個人の受け止め方で、ハラスメントかどうかが決まると思うが、その線引きの判断が難しいと思う。よって、今回の調査は、脅しや強要などのことが該当するのかと理解している。線引きについては、一定職員の共通認識が必要かと思う。
- ・ これまで長い間放置してきた積み重ねの結果ではないか。もちろん議員個人の問題でもあるが、これまで見て見ぬ振り、知って知らぬ振りをしてきた組織の問題でもあるのではないか。
- ・ 何でもかんでも議員のおっしやる通りという市職員の態度が、現在の議員のスタンスを作っている。
- ・ 議員に対して異常かつ病的に神経質な管理職がいるため、その面でのストレスが大きい。議員の意識改革は必要だが、職員の意識改革も必要と感じる。
- ・ 議員からのハラスメントは対処すべき問題ではあるが、過去に、現在の市の幹部職員(部長級以上)から大声や長時間の叱責を受けたことがある。こうした言動をした職員が市の幹部職員でいると考えると組織としていかなものかと思う。過去、セクハラといわれた方も最後は部長級だった。議員よりも先に内部の体質からは是正すべきだ。今、思い出しても当時、ひどい言い方をされたことがあった。まずは、幹部職員(部長級以上)の言動を改めるべきだ。変革するならば中からだ。

#### 【職員・市民からのハラスメント】

- ・ 市民(来庁者)からの執拗な要求や無理難題で長時間の窓口対応や電話対応を強いられた場合の対処方法や、当該職員の上司がとれる対処方法など、それぞれの立場の職員が実際に活用できるノウハウを学ぶ研修などが必要ではないかと思う。
- ・ 噂を結構聞くので、職員同士のハラスメント根絶条例も必要ではないか。
- ・ 職員を守るためのカスタマーハラスメント対策、条例制定等は市長に本腰を入れてやって欲しい。
- ・ 議員からのハラスメントより、市民や職員等からのハラスメントについて対応してほしい。特に職員等からのハラスメントは色々な形で多くの職員が経験しているのではないかと想像できるが、これまで適切な対応がされていたのか疑問に感じる。

- ・ この際、カスハラへの対応も併せて検討すべきではないか。
- ・ ハラスメント(特に職員間での)の相談窓口は、外部機関の設置が望ましいと考える。少なくとも窓口職場の電話はすべてナンバーディスプレイとし、通話録音アナウンスを流すべきだ。
- ・ 処分結果に対する不服等が増えており対応に時間を要するケースも多くなっている。ハラスメントに対する姿勢を公表する企業も出てきているが、そのような対応も必要ではないか。

<その他>

- ・ 議員との関係においては、市の課題や社会問題、経済問題など施策の方向性の話し合いや考え方の相互理解など良好な関係を維持している。特にハラスメントは感じたことはない。
- ・ 議会特有の慣習的なしきたりや形式的なルールを見直してもらうことで、職員は不要なストレスを感じることなく、効率的に有効活用できる時間が増え、働きやすい職場につながると思う。

Q18. 議員だけでなく、職場等において職員、又は窓口対応等において市民から、次のようなハラスメントを受けたことがありますか？(複数選択可)

項目	議員	職員	市民
(1)パワーハラスメント	48件	55件	41件
(2)セクシャルハラスメント	1件	6件	1件
(3)マタニティ・パタニティハラスメント	0件	2件	0件
(4)ジェンダーハラスメント	2件	4件	8件
(5)モラルハラスメント	9件	25件	29件
(6)カスタマーハラスメント	2件	0件	131件
(7)該当なし	28件	30件	23件

